

第65回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JP009CE	中学	物理	福岡県
学校名	久留米大学附設中学校		
研究作品タイトル	変化球に踏み込んで		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	貴船 尚哉		
指導教諭氏名	槌本 浩		

【動機】

私は野球を見るのが好きで、野球の中継を見ている時、投手が投げる変化球の多様性のすごさに驚き、その変化球がどのようになるかを研究してみたかったから。

【方法】

実際にピンポン球を飛ばし、空気抵抗などを調べるにあたって、身近で材料の調達がしやすく、制作し易いピッチングの模型が作れた為。

【結果】

当初想定していた結果とは大きくかけ離れたものになったが、くわしく変化球について知ることができた。

【まとめ】

ピンポン球での実験には限界があり、さらに詳しく調べるためには、模型の制作技術と、より多くの資金力必要であると分かった。

【展望】

野球界におけるさらなる変化球の技術の向上、多種多様な変化球に対応することができる打者の育成が可能になる。